

水環境技術の最前線

日時 平成 29 年 4 月 22 日 (土) 14:30 ~ 16:30

場所 龍谷大学大阪梅田キャンパス 研修室

開催日：平成 29 年 4 月 22 日 (土) 14:30 ~ 16:30

場 所：龍谷大学大阪梅田キャンパス 研修室

(http://www.ryukoku.ac.jp/osaka_office/access/index.html)

参加費(資料代)：①500 円(正会員・賛助会員・団体会員) ②1,500 円(一般)

但し、学生はどなたも無料

参加申込：事務局までメールでお申し込み下さい。先着順。

氏名、所属、会員か一般か、をお知らせ下さい。

申込期日：4 月 17 日(月)

申込先：環境技術学会事務局 E-mail: kankyo-g@jriet.net

内 容

1. 「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」に係る話題

演者：奥田一臣主幹(滋賀県琵琶湖保全再生課)

平成 27 年の法施行以降の、滋賀県における水質・水源等の保全に関する取り組みの動向を紹介していただく。

また、行政として、企業や大学に対して期待する水環境や生態系保全などの技術開発について触れて頂く。本講演は滋賀県琵琶湖保全再生課の出前講座「びわ湖まちかどむらかど環境塾」との共催で実施する。

2. 水処理のコア技術「凝集沈殿処理」

演者：奥田哲士准教授(龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科)

講演者が 20 年携わっている「凝集」沈殿処理に係る研究例を紹介して頂く。凝集沈殿処理は各種水処理に用いられるコア技術の一つであるが、すでに確立した技術であり、研究者も少ないことから、あまり勉強されたことが無い方も多かもしれない。

本講演では、いまさら人に聞けない凝集の基本も含めた「凝集」を中心に、講演者が行ってきた凝集沈殿処理に関わる研究例をいくつか紹介していただく。